

●参考文献一覧の表記方法（ニュータイプ引用表記）

（注：ニュータイプ引用表記は、著者名の後に出版年を表記する。）

例：小野寺建（2001），『E.M.フォースターの姿勢』（みすず書房）

（1）単行本

著者名（訳者名）（出版年），『書名』（出版社名）

*欧文の場合、書名は『 』ではなくイタリック。

小野寺健(2001), 『E.M.フォースターの姿勢』(みすず書房)

海老根宏,内田能嗣編著(1999), 『ジョージ・エリオットの時空』(北星堂書店)

松村昌家 (他) 編(1996), 『新帝国の開花』(研究社出版,)

デイヴィーズ J (白井義昭訳) (1998), 『英国ヴィクトリア朝のキッチン』(彩流社)

ボズボーム E. J. (野口建彦 (他) 訳) (1993), 『帝国の時代 1』(みすず書房)

Carroll,David,*George Eliot and the Conflict of Interpretations* (Cambridge University Press,1992).

（2）単行本（論文集）収録の論文

著者名,「論文名」,収録書物の編集者名(出版年),『書名』（出版社名）,ページ数.

*欧文の場合は論文名は「 」ではなく””、書名は『 』ではなくイタリック。

川北稔,「福音主義の理想と奴隷制の廃止」,松村昌家 (他) 編(1996), 『新帝国の開花』(研究社出版) ,pp. 67-86.
倉持三郎(1993),「「英国」小説から世界小説へ」,20 世紀英文学研究会編,『多文化時代のイギリス小説』(金星堂) ,p.16.

Synnott,Anthony,“Puzzling over the Senses:From Plato to Mark,”Howes,David ed ., *The Varieties of Sensory Experience*(University of Toronto Press),pp.61-76.

（3）雑誌論文

著者名,「論文名」,『雑誌名』 巻数号数（発行所,出版年）,ページ数.

*欧文の場合、論文名は「 」ではなく””、雑誌名は『 』ではなくイタリック。

泉忠司(2000),「Catherine は誰の子か?」,『ブロンテ・スタディーズ』第3巻第4号(日本ブロンテ協会) ,pp.111-119.

Arata,S.D.(1990),“The Occidental Tourist:Dracula and the Anxiety of Reverse Colonization”,*Victorian Studies*.Vol.33 Number4(Indiana University),pp621-645.

（4）新聞記事

執筆者名,「記事見出し」,『新聞名』 発行年月日,朝夕刊の別,ページ数.

*執筆者が不明の場合や、朝夕刊の区別のない新聞の場合は、それぞれの項目を省略する。欧文の場合、記事見出しは「 」ではなく””、新聞名は『 』ではなくイタリック。

和田俊,「日系作家、英文壇で高い評価」,『朝日新聞』1986.6.2. ,夕刊,p.7.

Fowler,Rebecca,“RoyalWedding is over in five minutes”,*Dailyomiuri*1996.4.21.,p.13.

（5）インターネットで得た資料

サイトの運営主体,「情報タイトル」(記事の日付) ,(サイトの URL) ,情報入手日.

*記事の日付が分からない場合は省いても構わないが、情報入手日は必ず入れる。また、欧文の場合、情報タイトルは「 」ではなく””。

文部科学省,「生徒指導上の諸問題の現状について(概要)」, (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/09/05092704.htm) ,2008.12.10.

TIMES ONLINE,“Bye-bye classroom”(2009.4.26.), (<http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/education/article6168260.ece>),2009.4.29

出典：泉忠司(2009),『90分でコツがわかる！「論文&レポート」の書き方』（青春出版社）,pp.218-225.